JSAF Established in 2007 The 80th Anniversary of "Active Fault" Since First Termed in 1927 Japanese Society for Active Fault Studies 日本活断層学会

会長 岡田篤正

「活断層の調査･研究への取り組み」

セッション1：事前防災への取組み

＜トピックス＞

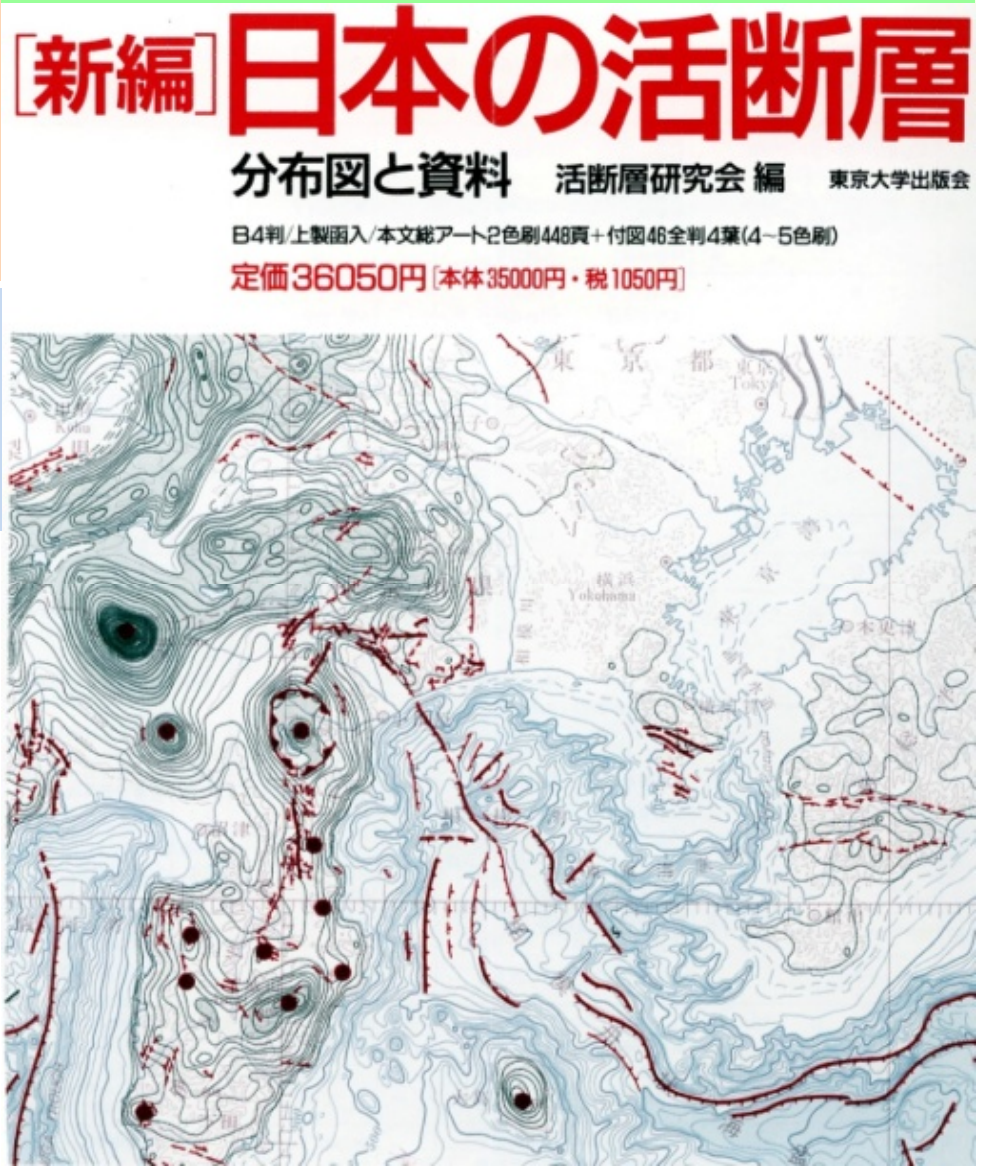
①阪神淡路大震災前からの対応
②阪神淡路大震災後の対応
③地震調査研究推進本部関係の成果
④東日本大震災を受けての調査と提言

①阪神淡路大震災前の対応

日本の活断層の多量発見は1960年代以降
高度成長期の重要構造物（原発・ダム）など
調査手法（ﾄﾚﾝﾁ・ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・反射法）の開発
活断層の基本的性質の概要
（ずれ方・活動時期・変位速度など）は解明
活断層の基礎的な長期予測
⇒1995年兵庫県南部地震

活断層の分布図作成と資料の収集・整理
⇒断層パラメーター解明に向けた始動

活断層研究会編（1991）：新編 日本の活断層
－分布図と資料－．東大出版会，437頁．
九州活構造研究会編(1989)：九州の活構造．
東大出版会，553頁．



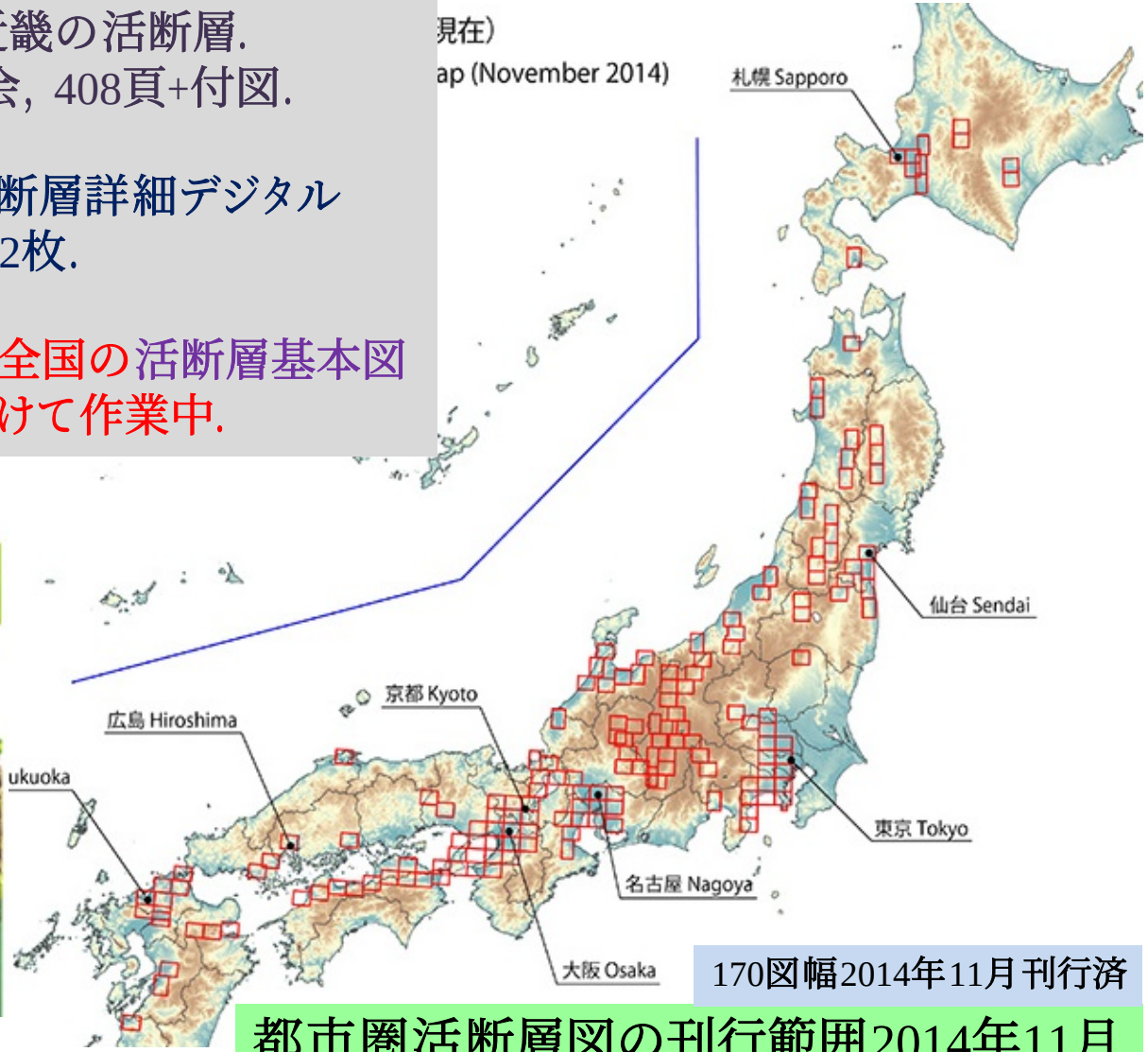
②阪神淡路大震災後の対応

国土地理院都市圏活断層図作成の開始（1996年以降）

岡田篤正・東郷正美編（2000）：近畿の活断層.
東大出版会，408頁+付図.

中田　高・今泉俊文編（2002）：活断層詳細デジタルマップ．東大出版会，60頁+DVD2枚.

地震調査委員会（2009⇒）：日本全国の活断層基本図（活断層台帳）作成に向けて作業中.

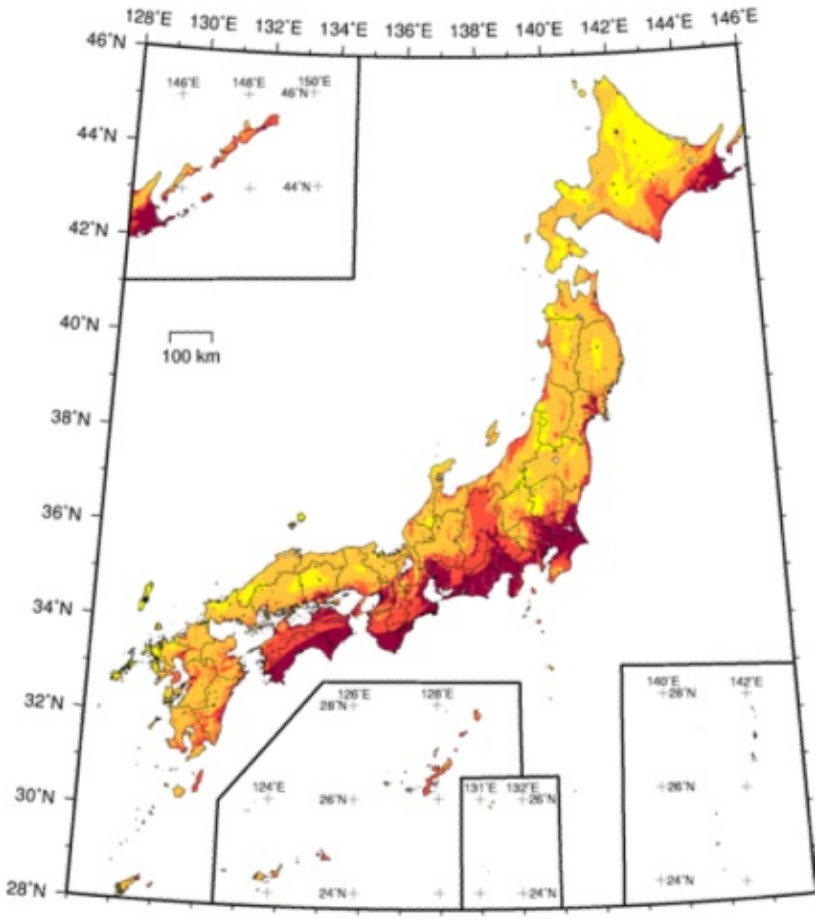


170図幅2014年11月刊行済

都市圏活断層図の刊行範囲2014年11月

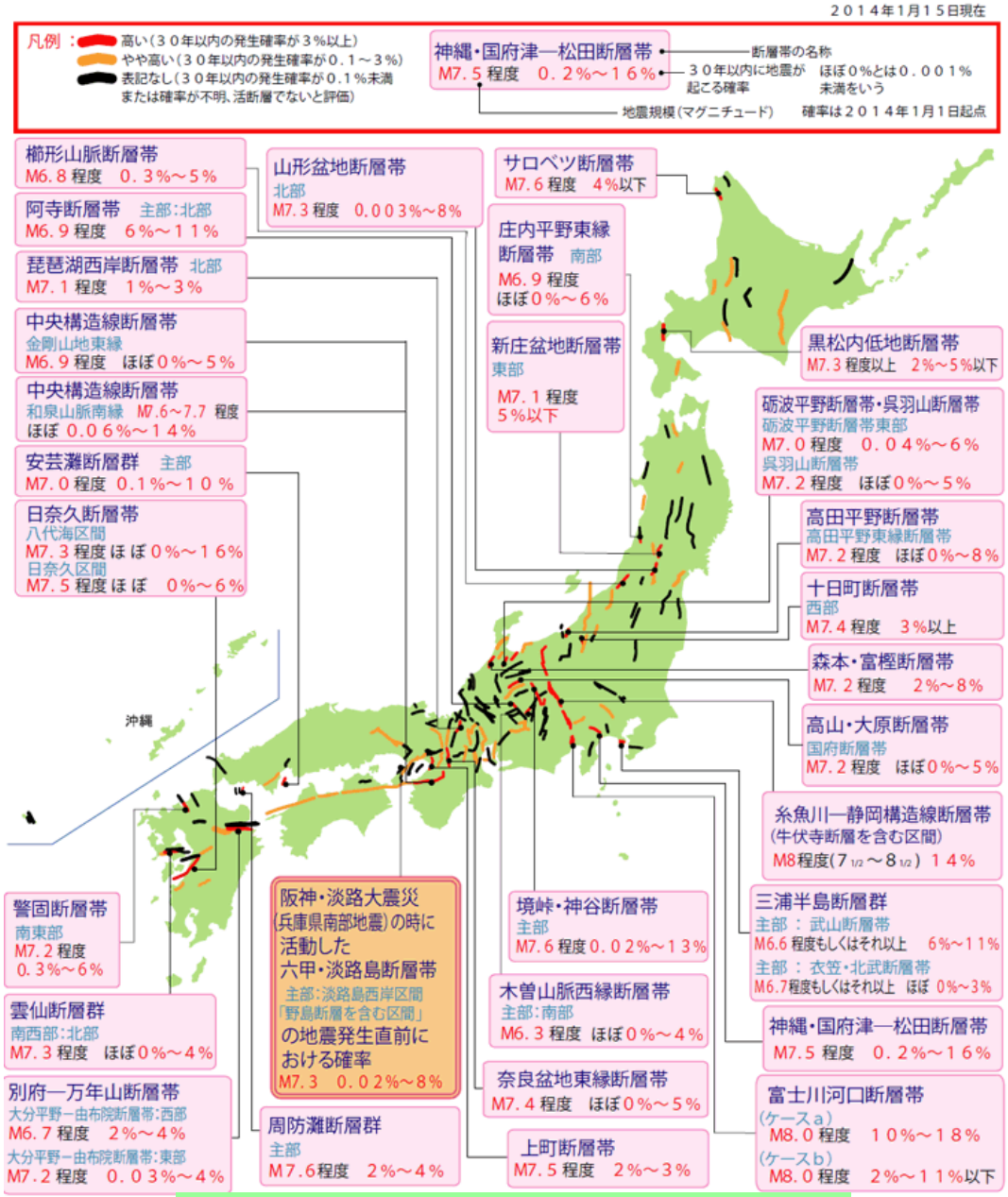
国土地理院HP：http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/active_fault.htmlより引用

③地震調査研究推進本部関係の成果



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
（地震調査研究推進本部，2013）

http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/active_fault.htmlより引用

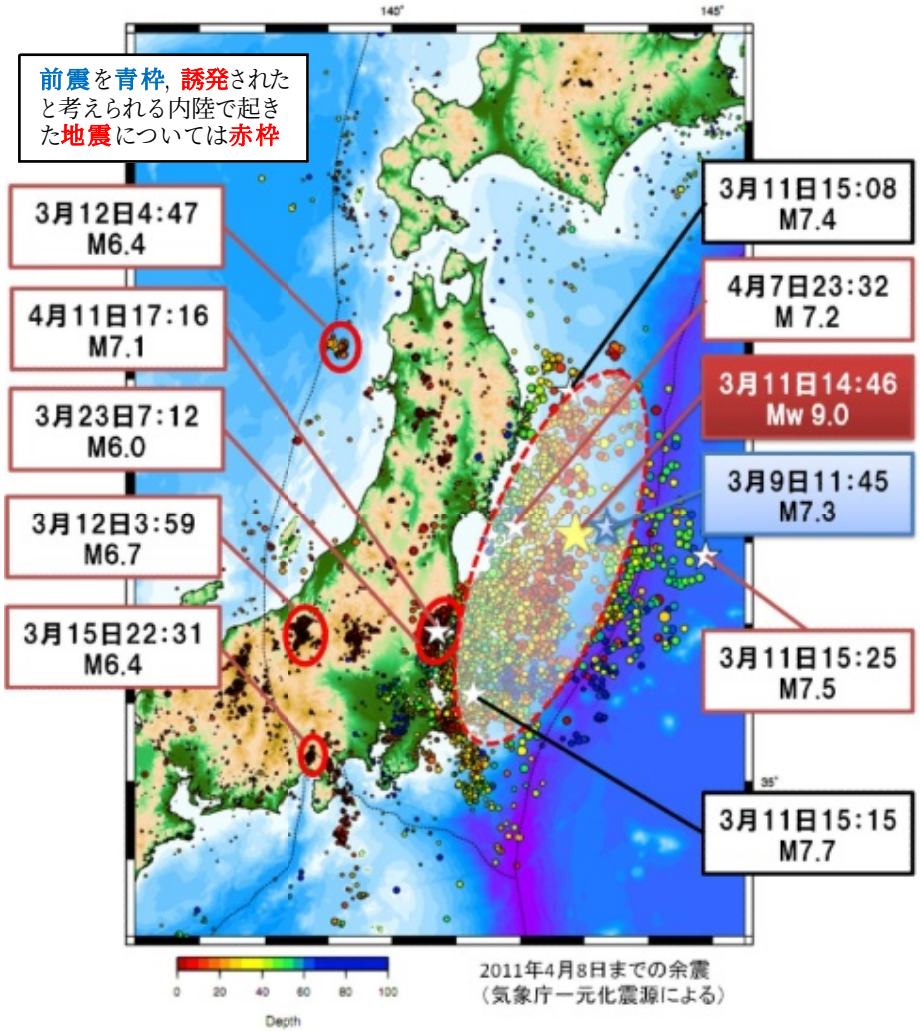


110本の活断層帯の長期評価
（地震調査研究推進本部，2013）

http://www.jishin.go.jp/main/p_hyoka02L.htmより引用

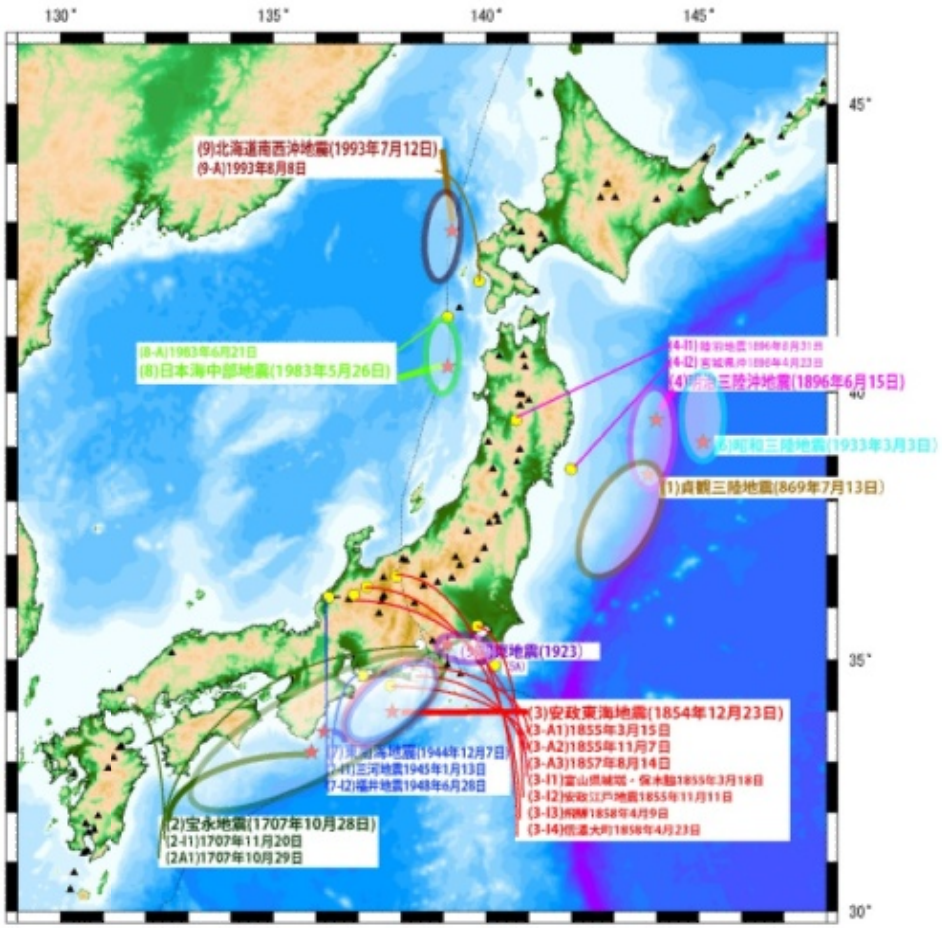
④東日本大震災を受けての調査と提言

A) 2011東北地方太平洋沖地震前後に発生した主な地震



本震に誘発されて起きたと考えられる地震
★内陸地殻内地震 2011年4月11日17:16 M7.1

B) 過去の巨大地震直後に発生した主な内陸地震



★東南海地震(1944)後の内陸地震
47日後の1945年1月13日愛知県蒲郡市の西方を震源とする「三河地震」(M6.8)

http://outreach.eri.u-tokyo.ac.jp/eqvolc/201103_tohoku/inducedeq/ より引用

JSAF Established in 2007 The 80th Anniversary of "Active Fault" Since First Termed in 1927 Japanese Society for Active Fault Studies 日本活断層学会

日本活断層学会からの提言

1) 日本と周辺海域から発生する活断層大地震（災害）の詳細解明
－活断層（海底を含む）の詳細な解明と情報提供－

2) 直下型地震（災害）や津波被害の軽減に向けた調査と対策提案
－大地震発生時の地殻変動（による災害）や被害予想域の検証と対策提案－

3) 内陸活断層の位置情報・基本的性格の解明⇒直下型地震への基本的な注意・対策の提言
－活断層地震の具体像の提示と対策提言－